

## 県内トップクラスの生産量を誇る 愛知県西尾市で大豆収穫が本格化！



西尾市では11月下旬から12月にかけて大豆の収穫作業が行われており、12月上中旬には最盛期を迎えます。

市内では遺伝子組み換えされたものではない、安全・安心で高品質な大豆を生産。2020年度より「フクユタカ」から、同等の品質を持ちながら莢(さや)が弾けにくくなる、難裂莢性、が特徴の新品種「フクユタカA1号」へ全面切り替えています。

☞ 裂莢による収穫ロスや自然裂莢によるロスを軽減して収量向上を図り、安定した大豆生産につなげています。

【作柄】今年台風被害もなく、昨年度より収量が期待できそうです。



▲豆腐の原料として実需者からの評価が高い「フクユタカ」

### ■収穫風景 取材対応日■

【日時】11月30日(火) 10時集合

【場所】JA西三河あぐりセンター小牧  
(西尾市吉良町小牧梶見堂35番地)

取材先農家：花木道明さん(西三河農協農作業受託部会 部会長)

※集合後、収穫を行っている農家のもとへご案内します。

取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

※雨天等の天候不順の場合には収穫を行わない場合があります。

その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。

### ■西尾市の大豆生産について

西尾市では米の生産調整のため、昭和50年代ごろからブロックローテーション(米・麦・大豆を水田で2年間に1作ずつ生産する)を行っています。市内の米・麦・大豆の専業農家48人で組織する「西三河農協農作業受託部会」では、約1,250haの水田で年間**1,614トン**(2020年度)の大豆を生産。収穫・選別後、農家がJAに持ち込み、品質検査を経てJAあいち経済連や食品加工業者へ。大豆に加工されたのち、飲食店や小売業者を通して消費者の手元に届きます。

※県内に流通する大豆は、主に納豆や豆腐、醤油、味噌の原料として利用されています。

管内Aコープでは、地元産大豆で作った豆腐を販売しています！



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河(西三河農業協同組合)

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発行しています。  
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。